

平成 30 年度薬剤師のための医療薬科学研修会（第 31 回）

日病薬病院薬学認定薬剤師制度（V-2）2.5 単位（申請中）
日本薬剤師研修センター認定 3 単位（申請中）

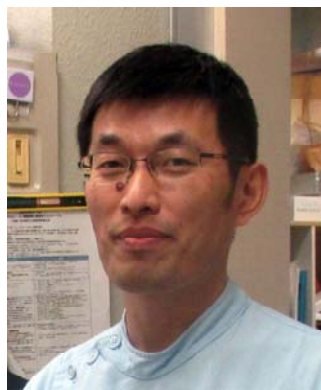
生活習慣病に対処せよ！

～高血圧・脂質異常症・糖尿病の薬物療法のトレンドをじっくり学ぶ～

日時 平成 30 年 9 月 16（日）13：00～17：30

会場 熊本大学薬学部 大江総合研究棟 2 階多目的ホール

主催 熊本大学薬学部教育委員会卒後教育部会



交通網が発達し、街にはファストフードの店であふれ、偏食や過食などの不適切な食生活、運動不足や睡眠不足、ストレスが続く毎日、タバコや酒の飲み過ぎなどが問題化されるようになりました。このような悪習慣を続けていると体に負担をかけるだけでなく、さまざまな病気を誘発することが明らかになっています。これらの生活習慣病を予防する、早期発見・早期治療することは非常に重要なことから、生活習慣病に関してはさまざまな診療ガイドラインが作成され、それらはほぼ5年を目途に改訂されます。薬物療法はこれらに則っておこなわれますが、画期的な新薬の登場やエビデンスレベルの高い臨床研究、次々と行われる大規模臨床試験の結果によって、薬物療法のトレンドも大きく変わることがあります。

今回の卒後教育は生活習慣病としては、お定まりの糖尿病、脂質異常症、高血圧の 3 つを取り上げますが、この 3 種の病名によって処方される薬物の量・種類ともに非常に多いです。また、最近では後期高齢者の生活習慣病に対する薬物療法は特別視されるようになりました。このように刻々と変化する生活習慣病の薬物療法を理解したうえで、よりよい薬物を提供できる薬剤師になりたいものです。今回はそれぞれの薬学系の専門家の先生方にご意見を伺い、薬剤師として知っておくべき薬物療法のトレンドについて詳しく教えていただきたいと思ひます。

プログラム

(13:00~14:00, 60分)

「この症例に使うべき降圧薬は何? ~変化するガイドラインを読み解く~」

熊本大学薬学部附属育薬フロンティアセンター・臨床薬理学分野 平田 純生

(14:10~15:10, 60分)

「再び動き出したのか? 脂質異常症の薬物治療」

東京薬科大学臨床医療薬学センター 山田 純司 先生

(15:20~16:20, 60分)

「個々の患者にあわせた糖尿病の薬物療法」

陣内病院薬剤部 西村 博之 先生

(16:30~17:30, 60分)

「後期高齢者の生活習慣病と薬物療法を考える」

くまもと温石病院薬局 森 直樹 先生

本研修会は、熊本大学薬学部卒後教育「薬剤師のための医療薬科学研修会」と銘打っておりますが、熊本大学薬学部以外のご出身の方、日本社会薬学会会員以外の方、現在薬剤師としての実務をなされていない方（例えば企業の方や大学生）、さらには薬学部出身ではない方々も歓迎しますので、是非奮ってご参加ください。

※当日受付で受講料 2,000 円（テキスト代含む）をお支払いいただきます。事前申込は有りませんのでご注意ください。

【連絡先】 熊本大学薬学部 卒後教育部会長 平田純生
〒862-0973 熊本市中央区大江本町 5-1 TEL/FAX:096-371-4856 e-mail:hirata@kumamoto-u.ac.jp